

祝

原水爆禁止 2020 年世界大会へのメッセージ

皆様には、平素より三好市政各般にわたり、ご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

原水爆禁止 2020 年世界大会が現在の情勢をふまえてオンライン開催になるなかでも、平和を希求する多くの皆様のご参加されますこと、心よりお慶び申し上げます。今大会の開催に際しまして、実行委員会をはじめ、日ごろより多くの皆様が、核兵器廃絶と世界平和実現のために日々たゆまぬご努力を積み重ねておられますことに対し、深く敬意を表する次第です。

「戦争は最大の人権侵害である」という言葉を胸に刻み、広島と長崎への原爆投下から 75 年目の夏を迎えるにあたり、「人権尊重のまち」を掲げる自治体として戦争や核兵器による人権侵害の被害者も加害者も作らないよう全力を尽くす所存であります。

すべての人の命と人権が尊重される社会の実現をめざして、本大会が有意義なものとなりますとともに、原水爆禁止世界大会実行委員会ならびに関係団体の今後のご発展と、皆様方の益々のご健勝、ご多幸をお祈りいたしましてのメッセージとさせていただきます。

2020年8月2日

三好市長 黒川 征一

「原水爆禁止二〇二〇年世界大会」の開催、誠におめで
とうございます。

本年は、広島と長崎への原爆投下、そして、国連創設か
ら七十五年目の節目にあたり、「核兵器のない世界」の実現
に向け、被爆者をはじめとする草の根の市民社会と国連や
政府との共同のため活動されておりますことに対しまして
厚く感謝申し上げます。

最後に、原水爆禁止世界大会実行委員会の今後ますます
のご発展とご参会の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈
り申し上げ、メッセージとさせていただきます。

美馬市長 藤田 元 治

「原水爆禁止2020年世界大会」へのメッセージ

原水爆禁止世界大会実行員会の皆様におかれましては、日頃から核兵器禁止・廃絶に向け幅広く平和活動に取り組んでおられますことに、深く敬意を表します。

戦後75年と言う歳月が経過した現在でも、多くの方々が原爆による病気や障がいにお苦しんでおられる現状を見るとき、私たちはこの地上から戦争、核兵器を根絶しなければならないと決意を新たにしております。そして、世界で唯一の核被爆地である広島・長崎において、「原水爆禁止2020年世界大会」が開催される意義を理解し、この大会を通じて多くの人々が核兵器廃絶・世界の恒久平和への思いを深めることを強く願います。

石井町におきましては、昭和60年7月4日に「非核平和の町」宣言を行い、核兵器の完全禁止に向けてあらゆる努力をし、町民が核の恐怖に侵されないよう平和のために貢献する決意を表明しております。今後とも核兵器の恐ろしさと被爆者の苦しみを訴え続け、核兵器の禁止そして廃絶に向けて全力を尽くして参ります。

結びに、今大会のご成功と、皆様方の活動が子どもや孫の世代、その先の未来まで核兵器のない安全な世界のために大きく実を結びますことを祈念しまして、メッセージとさせていただきます。

令和2年 7月 14日

石井町長 小林 智仁

原水爆禁止2020年世界大会

メッセージ

核兵器のない平和で公正な世界のために「原水爆禁止2020年世界大会」に参加される皆様方に、心から感謝と敬意を表します。

戦争の加害者と被害者という両面での経験をし、世界で唯一の被爆国である我が国は「核兵器の即時全廃」に向けて、核の恐ろしさ、平和の尊さを、広く世界に訴えて行かなければならないと思います。

我が板野町でも、「非核平和宣言の町」として、また、平和市長会議の加盟都市として、核兵器の全面禁止に向け、皆様方とともに、世界平和運動を続けて参る所存であります。

また、現在新型コロナウイルス感染症により社会全体が疲弊しておりますが、このような状況にも負けず、この「原水爆禁止2020年世界大会」がより多くの方々のご理解・ご協力を得て、大きな成果をあげられますことをご期待申し上げますとともに、併せて皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして私のメッセージといたします。

令和2年8月

板野町長 玉井孝治